

イカナゴ



Ammodytes personatus

地方名

ちりめん(体長20~30mm)、こうなご(体長30mm以上の1歳未満魚)、おおなご、めろうど(1歳以上)

生態

- ①寿命：約5歳。
- ②成熟：オス、メス共に2歳（体長16.0cm）以上。
- ③産卵期・産卵場：1月～4月。
水深50m付近の砂礫質の海底。
- ④分布：沖縄を除く日本各地。
- ⑤生態：主に昼は遊泳し、夜間は砂の中に潜る。
7月～10月の夏季に夏眠する。食性は端脚類、橈脚類、オキアミ類等の動物プランクトン。

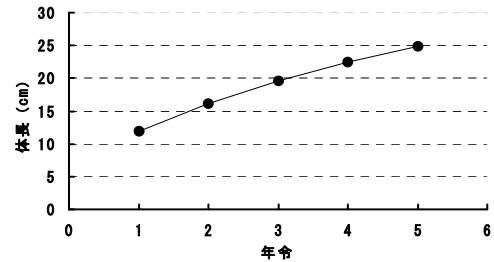


図 青森県におけるイカナゴの成長

主な漁業

定置網、光力利用敷網で漁獲。陸奥湾と太平洋で主漁期は4月～6月。当歳魚を漁獲。

漁獲と資源の動向

昭和54年の1,606トン を最後に、昭和55年以降1,000トン以下の状況が続き、平成7年からは変動幅は大きいものの1,000トンを超える漁獲量があった。しかし近年は大きく減少し、平成24年は2トンであった。

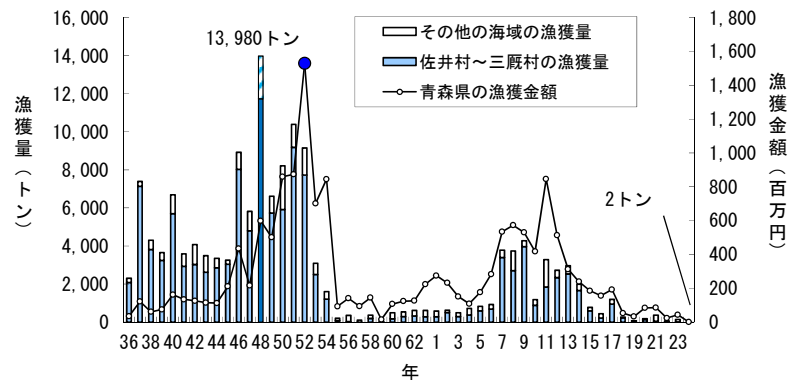
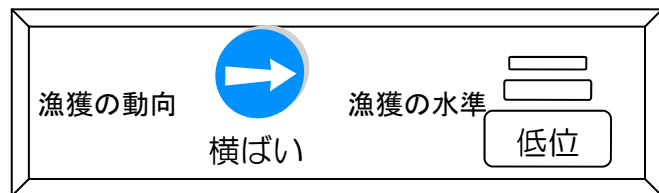


図 青森県におけるイカナゴの漁獲量及び漁獲金額の推移



資源を上手に利用するために

- 青森県イカナゴ資源回復計画（三厩漁協～蓬田村漁協、脇野沢村漁協、佐井村漁協、白糖漁協、泊漁協 平成19年3月）
- ・漁期の短縮や操業統数の制限により、漁獲努力量を削減し、産卵親魚を保護する。
- ☆上記の取り組みを継続することが必要。

トピックス

- ・平成25年漁期から、三厩漁協～佐井村漁協までの陸奥湾湾口・湾内全域において、光力利用敷網漁業の禁漁と、小型定置漁業によるイカナゴ水揚げ禁止措置が開始。